

# お国自慢



(株)プランテック

長与・時津環境施設組合  
長与町・時津町

## 長与町・時津町へようこそ！

### クリーンパーク長与

#### 1. はじめに

長与町・時津町は、長崎県の中心に位置する波静かな大村湾を北に臨み、南は長崎市に隣接しています。各町とも、町の中央を長与川、時津川が流れ、周囲を小高い山が取り囲む豊かな

自然と景観、都市生活の活力が共存する魅力あふれる地域です。温暖な気候により、特産のみかん・ぶどうなどの果物の生産も盛んです。

長与町の主要な産業は農業で、特に200年余の歴史を誇るみかんの産地として有名です。ま



クリーンパーク長与

た、時津町は、江戸時代より長崎街道の宿場町・港として栄え、長崎市、佐世保市に至る国道206号が通る交通の要衝として、商工業が発展しています。両町ともに県内で人口が増加している数少ない自治体で、長崎市の中心部まで10km程と近いこともあり、長崎市のベッドタウンという一面も見られます。

長与町、時津町では、従来あった一般廃棄物処理施設の閉鎖後、平成18年4月から一般廃棄物処理は近隣の長崎市などに委託されていました。両町で一般廃棄物の共同処理を開始するため、平成20年10月に長与・時津環境施設組合が設立され、翌年7月に新たなごみ処理施設建設が決定しました。

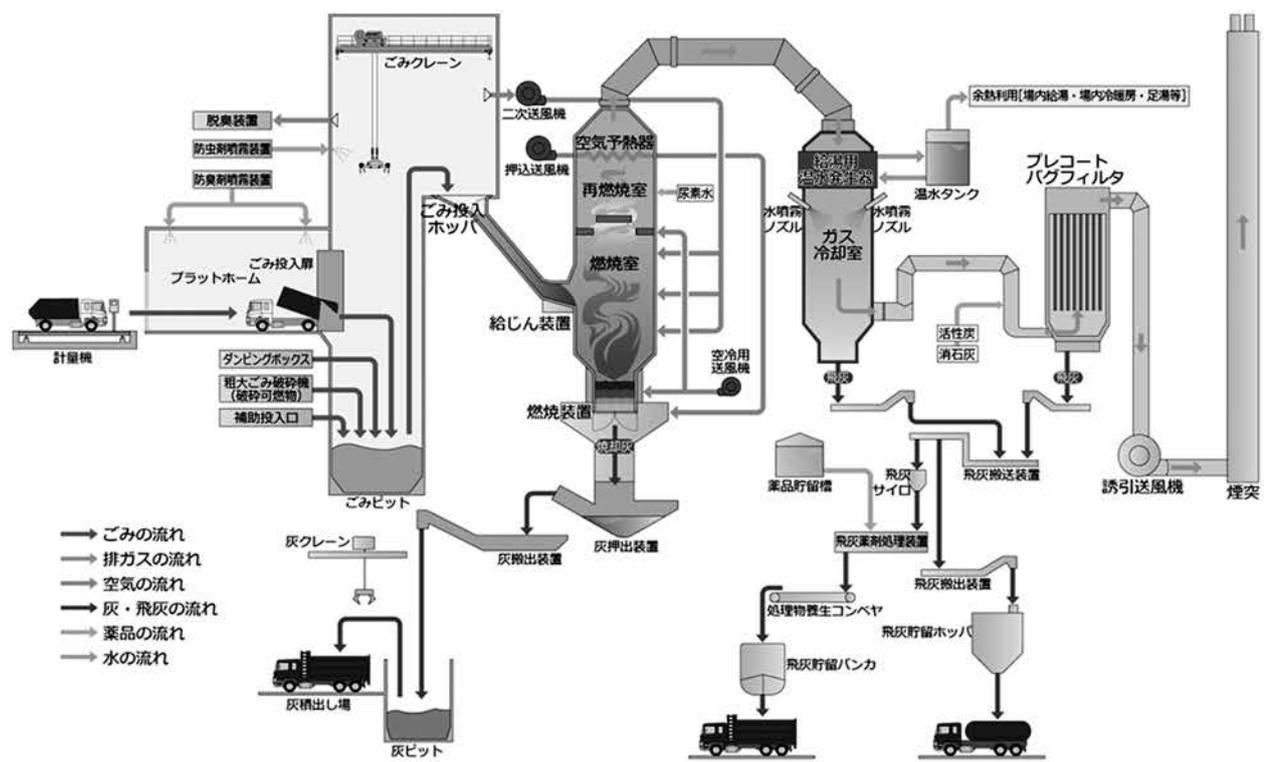
これにより熱回収施設「クリーンパーク長与」は平成27年3月に長与町に完成し、同年4月より稼動を開始しています。施設稼動後の運営・維持管理業務は、特別目的会社の長与时津環境サービスとの間で20年間の委託契約が締結されています。

## 2. 施設の特長

本施設は大村湾を眼下に見る丘陵地に建設され、施設の各所から絶好の眺望を堪能できます。建屋の意匠は、軒の深い屋根と漆喰白壁風の壁、彫りの深い陰影を持った伝統的家屋をモチーフに、渡り廊下部分には地域の特産品であるみかんをイメージした配色が施されています。

屋内には、機器説明用のパネル等の他に、本施設および両町のキャラクターが手をつなぐ壁画や環境学習・啓蒙パネルを設け、見学者が識別しやすいようにプラント設備が機器毎（機能別）にカラーリングされています。美しいプラント、地域に親しまれる施設を目指した結果、昨年末の3ヶ月間で約1千人の見学者が訪れています。

また、熱回収施設として廃熱の10%以上を場内の給湯と冷暖房に利用する他、周辺地域還元設備として設けられた足湯には、多くの利用者が訪れ、地元紙に取り上げられるほどの人気です。



施設フローシート



プラットホーム外観

本施設では、一般廃棄物の燃やせるごみ、可燃性粗大ごみと時津クリーンセンターの選別可燃残渣の焼却処理が行われており、独自の堅型ストーカ式焼却炉とSAL（= Super Low Air-ratio）燃焼技術を用いた次世代プラントで低公害・安定燃焼を実現しており、公害防止性能には、国の基準値よりも厳しい自主規制値が設定され、性能試験の全ての項目で自主規制値をはるかに下回る結果が得られています。

本施設の完成により、従来は専門業者に委託処理していた燃やせないごみのうち、燃やすことができる難燃物、靴・靴などの革製品やゴム製品、資源化できないプラスチック類なども焼却処理できるようになり、委託経費の大幅削減と、地域住民の分別負担の軽減が達成されています。

また、本施設から出る焼却灰はエコセメントの原料、焼却飛灰は山元還元により金属を資源回収するため施設からの残渣はなく、環境負荷の低減に努めています。

### 3. 施設概要

- 施設名称：クリーンパーク長与
- 所在地：長崎県西彼杵郡長与町斉藤郷 1073 番地
- 敷地面積：15,800.38m<sup>2</sup>
- 建築面積：工場棟／1,926.73m<sup>2</sup>  
管理棟／474.64m<sup>2</sup>
- 延床面積：工場棟／3,284.60m<sup>2</sup>  
管理棟／909.45m<sup>2</sup>
- 処理対象物：可燃ごみ、時津クリーンセンター選別可燃残渣、可燃性粗大ごみ等
- 燃焼方式：堅型ストーカ式
- 処理能力：54t/日（27t/24時間×2炉）
- 余熱利用：場内給湯、場内冷暖房、足湯等（熱回収率10%以上）
- 建設工期：平成25年5月～平成27年3月
- 事業主体：長与・時津環境施設組合
- 施工監理：(株) エイト日本技術開発 長崎事務所
- 設計・施工：(株) プランテック
- 運営：(株) 長与时津環境サービス

## 長与町・時津町の紹介

### ●長与町の概要

長与町は、1889（明治22）年4月の町村制施行時に周辺9郷が合併して長与村が発足し、1969（昭和44）年1月の町制施行で長与町となりました。地理的には大村湾南岸に面し、西に時津町、南に長崎市、東の諫早市と接しています。

人口は42,617人（平成27年10月末）。町の中央部を流れる長与川流域に住宅地や田畑が多く、周辺部の丘陵地にはみかん畑が広がり、南

部や西部は長崎市北部や時津町東部と連続した住宅密集地になっています。

### ○名勝・観光スポット

#### ◇中尾城公園

JR長与駅から徒歩3分の公園の展望広場からは長与町が一望でき、春には530本の桜が咲き誇ります。中世の中尾城跡があります。

#### ◇堂崎の鼻

町の最北端、大村湾に突き出たリアス式の海



堂崎の鼻

岸で、岩肌と目の前に広がる真っ青な海とが鮮やかなコントラストを見せています。沖には、長崎空港から飛行機が離発着する様子も見え、「次代に残そう長崎百景」に選定されています。

## ○特産品

### ◇みかん

大村湾に面した温暖な気候に恵まれた「長与みかん」の産地として名をはせ、秋には山全体がみかん色になるほどの作付面積を誇ります。

### ◇カキ・ナマコ

平均水深 15m 程度と浅く、海底が砂や泥質である大村湾は、波が穏やかなため、湾内の長与浦で育てられたカキは、脂が乗りやすく大ぶりです。冬になると長与港にカキ小屋も出現します。また、水産物の中で水揚げ量が最も多いナマコはやわらかく、コリコリした独特の食感を楽しむことができます。

## ●時津町の概要

時津町は、1872（明治 5）年に周辺 3 村が合併して時津村が誕生し、1951（昭和 26）年 12 月の町制施行により時津町となりました。地理的には北は大村湾南端部に接し、西から南にかけて長崎市、東は長与町に相接しています。

人口は 30,222 人（平成 27 年 10 月末）。時津臨海工業地域として埋立事業と工場の誘致などにより「中小企業の町」としての性格も強く、近年では、郊外型商業施設の出店も多く、交通

の要衝として、人や物の交流が盛んな町として発展しています。

## ○名勝・観光スポット

### ◇日本 26 聖人上陸記念碑

1597 年 2 月（慶長元年 12 月）、豊臣秀吉の命令により 26 人のカトリック信者が長崎で磔の刑に処され、26 人は後にカトリック教会によって聖人の列に加えられました。この前年、26 聖人殉教の旅（堺から長崎まで）の途中、海路を利用して時津に上陸。一夜を過ごし、殉教地長崎へ向かったことから、時津港に記念碑が建立されています。



日本 26 聖人上陸記念碑

### ◇茶屋（本陣）

江戸時代、時津街道を通った大名や幕府の役人たちが休息所として利用したお茶屋が、当時の面影そのままに残されています（平成 7 年、町文化財指定）

## ○特産品

### ◇とぎつまんじゅう

時津と言えば「まんじゅう」と言われるくらい、その風味と名は広く知られ、百数十年の伝統を有しています。

### ◇巨峰（ぶどう）

1961（昭和 36）年に始まったぶどう栽培は、県内最大の産地規模を誇り、甘みと酸味をほどよく含んだ巨峰は格別のおいしさです。